

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



目次

みなと養護夏祭り報告	2
歌と踊りの集い	3
暑気払い、実習所報告	4
学習会	5
虫めがね	6
Tシャツ・タオルの報告	8
小野塚さん連載	9
太田稔さん連載	10
和栗さん連載、 夕会、寄付のお礼	11
編集後記、スケジュール	12

2008年
8・9
合併号



夏休みが終わり皆様いかがお過ごしでしょうか？猛暑も過ぎ去り秋らしい肌寒い季節が近付いて来ました。皆様、体調を崩さない様に気を付けて下さい。

今年は五輪オリンピックが中国・北京で行われ各国ともに熱戦を繰り広げました。日本は金9個、銀6個、銅10個、合計25個のメダルを獲得しました。この会報がお手元に届く頃はパラリンピックが行われていると思います。日本選手の活躍をみんなで応援しましょう！

幸 高史



みなと夏祭りに参加しました



7月19日土曜日は、毎年恒例の「みなと養護学校夏祭り」に代表メンバーで参加をしました。

15時30分から18時まで、今回も風の子会の自主製品販売を行いました。

その日、関東地方はようやく梅雨明けしたということもあり、とても暑かったです。私も含め、皆体力を温存したり、こまめに水分補給等をとることにとても苦労しました。

その日の売上は6600円で、昨年と比べると若干売上が落ちたような気がしますが、このよう

な行事に参加することで、会の活動を知ってもらえるので、大変有意義に感じました。

お手伝いいただいたボランティアの方々やお買い上げいただいた皆様ありがとうございました。そして、最後になりましたが、招待して下さったみなと養護学校の皆様ありがとうございました。来年も宜しく願いいたします。

天海 隆一



お買い上げ頂き、
ありがとうございました！





太田 圭子



ズンズンズンドコタとこのリズムが、私の頭の中で回っています。今年の歌と踊りの集いには風の子はこの曲で参加をしました。ただ唱うだけでは面白くないので少し動きを入れて、オペレッタにすることにしました。みんなで配役を決めたり空き缶やペットボトルを利用して、簡単な楽器を作ったりして練習を始めました。ラーメン屋の女の子、ガソリンスタンドの女の子、お母さんなど、その人達の動きが可笑しくて私は歌を唱えなくなったりしました。本番の七月十二日はみんな一生懸命頑張りましたが、私は少し上がってしまった。自分が唱うことに夢中で、会場の反応がどうだったかは？ほとんど解りませんでした。風の子会で歌と踊りの担当した二人の職員K君とKさん御苦労様でした。

歌と踊りの集い報告



今回の歌と踊りは、くるくる回って大変でした。

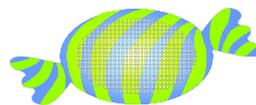
やっぱりなかよし会がよかった。詩の朗読の時間をもう少し短いほうがよかった。反対にディスコタイムがもう少し長ければ良かったです。

風の子会は楽しく出来たので良かったです。丸岡さんが転んでかわいそうだった。
 永澤 心一



職員もコスプレして頑張りました！！

(-)



暑気払い



8月9日 恒例の暑気払いが高浜実習所で開かれました。ボランティアさんも参加してくれて、賑やかで楽しい時間を過ごしました。

クイズでは新しい職員の小林さんの紹介を兼ねて、趣味や好物などをみんなで当てました。小林さんの真面目で優しい性格がよくわかりました。

途中クーラーの故障というハプニングがありました。みんなのパワーでまさに暑気を払いました。

佐久間 庸



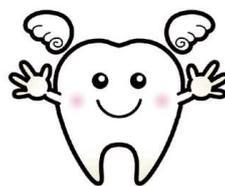
小林君問題全部
わかりました！！
そして1位をとりました。
（^▽^ケケケ



二、三日前に、とても懐かしい方が実習所にお見えになりました。その方のお名前は、Sさん。谷嶋先生がまだお元気だった頃、水曜学習会にボランティアとして、来ていただいた方でした。あれから三、四年経ちましたが、Sさんはちっともお変わりなくお元気そうなので僕は嬉しくなりました。ですから風の子会の昔からのボランティアさんも、Sさんのように気軽に遊びに来て下さい。

七月二十六日（土曜日）明治学院の、学生さん三名（女子）が、実習所に来てくれました。それは八月三十日から実習生として来るため、事前の挨拶に來られたようでした。とてもすがすがしい思いがしました。当日を楽しみにしています。

太田 稔



みなさんでお箸の袋入れをやりました。Tシャツ・タオルの販売で、営業や納品に行きました。港養護祭りに自主製品の販売で参加しました。歯科検診が来りました。

明治学院の実習生の人が三名、事前説明会に來ました。八月末から実習に來られるそうです。千代田の社協の人が和紙漉きの見学に來ました。

小野田 浩

工房報告

7月16日【ビデオ鑑賞】

古畑任三郎を見ました。犯人を追いつめる古畑や刑事達の、ひょうひょうとしたセリフが面白かったです。



7月9日【音楽鑑賞、歌と踊りの練習】

この日は、音楽鑑賞で、皆さんのリクエスト曲で楽しみました。後半は歌と踊りの練習をしました。



学習会報告

担当：和栗 顕太郎

7月30日【三国志、四川省大地震】

前半は矢代さんが三国志について、後半は内田さんが、四川省大地震についての話をしてくれました。三国志は長い物語の要点を面白可笑しく学びました。また四川省大地震の勉強では、今回は大地震の多い中国でもまれにみる大きさであった事を感じました。



7月23日【ゲーム大会】

ゲームを楽しみました。トランプ班が2つと人生ゲーム班1つ、オセロ班1つに分かれてやりました。トランプはブラックジャック専門と、神経衰弱や7並べ、じじ抜き等をやるチームに分かれていました。みんな夢中になって、暑さも忘れたようでした。

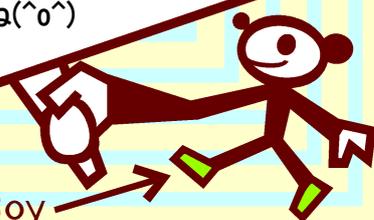




虫めがね ～自分の癖～

今回からテーマは「自分の癖」です。一口に「癖」と言っても、「癖」というものの捉え方でさえ、人それぞれですね…

それも一つの「癖」かも知れませんね(^o^)



Messenger Boy



僕は「羨に懲りて膾を氷漬けにする」性格なのだ。
読み返してみると、自分のマイナス面ばかり書いてしまった
気がする。これではまるでダメ人間だ。でも僕は見た目にはお
気楽なお調子者なので、今後とも小野塚航をよろしくお願
いします。

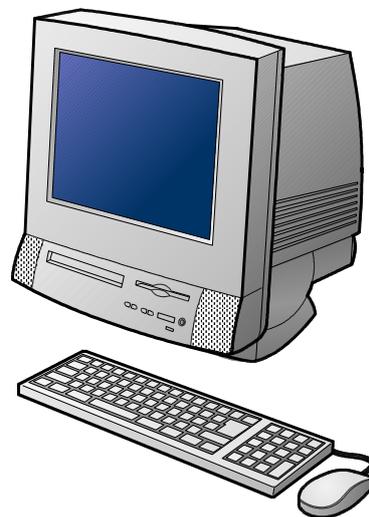


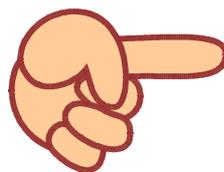
小野塚
航

癖と言われてまず思いつくのは耳たぶをさわることだ。子供の頃からずっと直らない癖だし、まあ直そうという気もあまりないけれど。あとは緊張する場だとよく咳払いをしてしまう。無意識に出てしまつて「しまった」とつい思つてしまう。それから実は赤面症だったりする。意外と小心者なのだ。もう一つ挙げると美人に弱いところかな。おっとこれは癖ではないか。
性格的な傾向というか考え方の癖で言えば、物事を始めるときに慎重になりすぎるところがあるので自分でも厄介だと思つてしまう。「石橋を叩いて渡る」というが、僕の場合「石橋を叩いて叩いて壊してしまふ」タイプなのだ。それから一度の失敗でやたらと臆病になつてしまふところ。「羨（あつもの）に懲りて膾（なます）を吹く」というが、

まこのクセは寝るクセがあります。どうしてかという、朝も夜も暑いからです。
一人でパソコンのテレビを観ます。でもあまりおもしろくないです。
でもSMAP×SMAP観ます。だけど録画して寝ます。

右田
麿子





僕の「自分のクセは、幼少の頃から家について横になると、爪をかんでしまっことです。両親から、注意されるのですがなかなかやめられません。爪切りを使えばいいのですが、子供の頃の記憶で、母親に爪を切って貰っていたら、爪切りの先が中まで入り、深爪をしてしまったことがあったので、爪をかむのがクセになってきていると思います。自分のクセは、なかなか直らないものです。

田中 聡

やる頻度が多いのを書くことと思います（尚、口癖は除きます）。『癖の定義』や『癖』と『習慣』の違いが難しいので、気付いていないものや気付いているけど特に意識せずに行っている行動・ついやってしまう事等関係無く、よくやっている行動を箇条書きします。

『頭を掻く（特に考えている時）』・『髪を掻き上げる』・『腕を組む』・『足を組む』・『頬杖を付く』・『考える時や思いだす時に』上方に向ける（視線だけの場合や顔ごと傾けたり）』・『口笛（音楽を聴いていて音に合わせてやリズムを取る時は勿論の事、文章で言う感嘆符みたいにリアクションで多用したり、自分・他人の行動が上手くいった等で使う）』・『ドアが開いているのにノブを回し（倒し）ながら開ける（ドアを移動させる）』・『手を組む（腹部前や頭頂部・後頭部付近で）』・『指パッチン（指を弾く）（これも感嘆符のように使う事が多い）』・『口元に手を当てる（肘を付くと併用する事が多い）』・『熱くない飲食物でも息を吹き掛けて冷ます行動を取る』

取り敢えず直ぐ思いつくのは此れ位ですが、『無くて七癖有って四十八癖』と言う様に、傍から見るともつと有るのではないかと思えます。

癖の代表・代名詞の様な、『貧乏揺すり』や『爪を噛む』はしてないのだなと思えました。因みに貧乏揺すりは仕方なく行われる行動とも言われているから、一概に悪い癖・マナーで片すのはどうかと思う。



田村 亮彦

自分の癖を考えた時に三通りの見方があると思う。第三者つまり他人はどう見ているのか？そして自分自身ではどう感じているか。また障害者ならではの癖があると思う。

私は生後まもなくの高熱にて、脳性麻痺アテトーゼ型と診断された。その為、幼い頃から歳を取ることに全身に緊張が強くなり、首は左右に大きく無意識に動いてしまっ。

自分でも、どうして首がこんなに動くのだろう？！と思っ た事もある。

子供の頃、遊園地や動物園に出かけた時に見知らぬ子供が、あそこにも首振り人形が居るよ！と私に向かって指を差した。一瞬、唾然となり足で蹴つてやりたいくらい心が怒った。しかしゾウの鼻の様に私の足は長く無かつたので蹴れなかつた。

学生時代は首が振れるせいか、国語が読書や漢字の読み、文章を作るのが非常に苦手だつた。むしろ数学の方が計算式を覚えればあとは答えを出すだけなので得意だつた。

だからワープロソフト(ワード・一太郎など)よりも表計算エクセル・ロータスなどの方がやりやすい。

また私の場合、聴覚に障害が有り、幼い頃から段々両耳が遠くなり、右耳はほとんど聞こえず左耳で何とか聴いていた。一対一の会話は出来たが五人以上、十人以上の人数になると少し離れた人の言葉や意見が聞き取れない為、自分の意見が余り言えなかつた様に思う。やはり補聴器の必要性を感じて来たので新宿の心身障害者センターで聴覚障害四級で補聴器が必要と判定を受けた。補聴器を購入して必要に応じて付けたり外したりしていたが、最近では補聴器を付けないと相手の声や言葉が聞こえなくなつたので二四時間付けている。



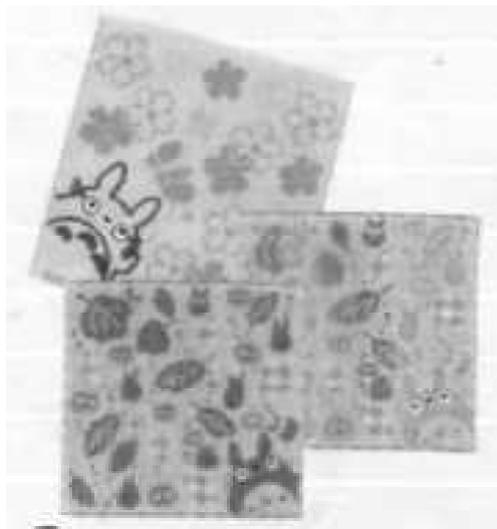
幸 高史

夏季商品の売り上げ報告

売上金額	三十三万五千二百二十五円
売上総数	二百四十四品

左記に載せているのは、
売上数ベスト5です。
(風の子オリジナル
+Tシャツ・タオル)

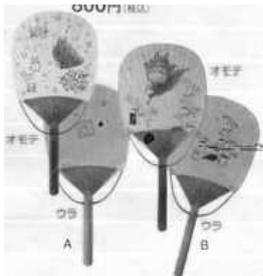
一位
トトロミニタオルセット あさつゆ・うらら



二位
きょうされんふきん (五枚組)



三位
となりのトトロうちわ二本セット 小判型A・B



四位
箸つつみへmyはしくらぶく 市松柄(紺)



天然選糸(ロングパイル)バスタオル



ほうじ茶



皆様お買い上げ頂き
有り難うございました



わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

～ 夏の特別編 思ひ出ラプソディ ～

大学を卒業して10年以上が過ぎた。卒業して2年くらいしてから港区に移り住んだので、大学や学生寮、駅前の雰囲気などがどのように変化したのかあまり知らなかった。僕は学生寮に5年、その後、駅近くのアパートに3年弱の計8年近くをその周辺で暮らしていたので、それなりに思い入れのある町だ。大学に入るまでは実家で家族と当たり前で過ごしていたのが、学生寮やアパートという家を離れたところで初めて生活をした町だ。思いもよらないような出来事、辛かったこと、片思いと友情、そんなようなものがたくさん詰まっている。そんな町だ。

卒業した後も、何度かは近くまで行ったことはある。けれどそれはOBの家が近くにあるため、大学や駅前を訪れるような機会はあまりなかった。そのOB宅に行くと必ず麻雀になり、カラオケになり、激しく飲みまくるので、いつもからだがポロポロとなり、昔を懐かしんで町を訪れるような時間はないのだ。

今年の夏、実家に帰省したときに、母と二人で久しぶりに行ってみようかということになり、車を走らせた。大学のある町は、実家から車で1時間ちょっとの距離だ。多摩センターの端の方を抜けて鎌倉街道を南下する。10年前に走っていた頃と変わらぬ風景に懐かしさがよぎる。鎌倉街道をそれて鶴川街道にのればもうすぐだ。本屋や郵便局、ファミレスなど、当時と変わらない店並みが続いて、じきに駅前にたどり着く。小田急沿線のその駅は、僕が住んでいた頃は華やかとはとてもいえない、こぢんまりとした駅だったはずだ。

駅周辺まで近づくと、僕は自分の目を疑った。当時はなかったビルやマンションが駅前周辺を取り囲むように林立しているのだ。駅前の道路も10年前は細い1車線で朝夕の通勤時間帯にはいつも激しく渋滞しているような道だったのだが、道幅が大きく広げられていて、まっすぐに伸びている。大きなチェーン系の居酒屋やカラオケボックス、インターネットカフェまであり、僕が住んでいた頃とは町の風景が激変していた。「まるで浦島太郎だな」助手席の窓から駅前を見やりながらそう思った。

駅前を通過して大学へ向かう。川沿いや田んぼなど見える風景はさほど変わらない。学生の頃によく利用していたヤマザキパンもそのままにあった。けれども大学も駅前と同様に様変わりしていた。入り口付近にそびえ立つA棟は僕が通っていた頃には影も形もなく、第2グラウンドに建てられている立派な施設も当然のようになかった。夏期休暇中でも平気で学内を歩き回れるフランクさは昔と変わらないが、スロープが改装されていたりと至る所に変化が見られた。「10年は一昔って、本当にそうなんだな」そう思った。

～ けっこう長そうなので、後編へとつづく ～

母の思い出

第十三回

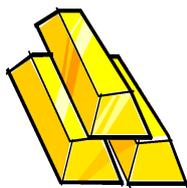
太田 稔

そして五月になると病状は一層悪化していった。食べ物のどを通らなくなり水も受け付けなくなっていく。しかし意識だけははっきりしている。僕は思った。（母は僕が体が動けたらわがままが言えたらうに）このときほど自分の体が利かないというもどかしさを痛感したことはないと思う。何故なら妹は僕の面倒を見なければならぬ。母は苦しいのだがそれを訴えられないのだ。それを見ていて僕は思った。（母は苦しんでいる。僕の体が五体満足ならば母の面倒が見られるものを）僕はこのときくらい自分の体を憎み悲しんだことはない。六月に入ると妹は僕に相談を持ちかけてきた。「お兄ちゃん、お母さんのことなんだけど、私にはとても面倒は見られないわ。こんな事いっては悪いけれどお兄ちゃんにも手が掛かるし私一人では、とてもやっていけないわ」妹は続けた。「お兄ちゃん、お母さんには悪いけれど、病院に入院してもらおうかと思っているの」仕方がなかった。こうして母は間もなく渋谷の日赤病院に入院した。僕は幸い妹の友人が殆ど毎日見舞いに連れていつてくれた。僕は母が死ぬことを予期していた。母も死ぬことを予期せざるをえなかった。というのは何でも母が、当たり前前の事だが家の切り盛りを何でもやっていたからだ。だから彼女が亡くなった場合、どこに何があるか分からない状態になってしまうからだ。母に妹は意を決して死を告げた、すると母は「良かったわ、言ってもらって。美知子のいう通りよ」その日から母は、妹に家にどこに何があるかを三日がかりで教えた。（あんな小さな家で三日もかかるかと思いだるうが、狭い家だからこそ物がごちゃ混ぜになっているのだ）そしてそれが終わった後五月の中頃母日本医大に再入院したのである。ところがここに一つ重大問題が発生した。というのは病院が遠いということである。普通の人はなら九段下といえれば遠くはない、いやむしろ僕の家からは近いくらいだ。なのに何故遠いかといえればあの頃は今のよう障害者が表に出られなかった。今では福祉タクシーもあれば普通のタクシーも止まってくれる。しかしあの頃のタクシーは障害者の乗車を極度に嫌ったのである。理由は車を汚されはしないかとかお金を払わないのではないかと今では考えられないようなことでタクシーには乗れなかったのである。そこで母を九段下の、二本医大から渋谷の日赤中央病院へと病院の引っ越しをしたのである。ところで歌手の、尾崎紀世彦と僕は仲の良い飲み友達である。何故いきなり尾崎紀世彦の名前が出て来るかといえば、「母の思い出」を書こうとするとき彼は絶対に不可欠な存在だからである。それは何故かと言え、まだ彼が無名の頃、妹が体が弱かったため母が乗馬を勧めた。始めは馬事公苑に通っていた妹だったがやがて馬事公苑では物足りなくなり静岡県御殿場市まで遠乗りに出かける。そこでまたまた遠乗りに来ていた尾崎紀世彦と初めて出会うこととなる。うちの母の教育方針は僕の友達は妹の友達、妹の友達は僕の友達というものだった為、とうぜん妹は、家に尾崎紀世彦を連れてきた。ところが、芸能人の生活をまるで知らない僕は、彼が来るというので、晩ご飯を早くに召ませ待っていた。ところが八時になっても九時になっても彼は姿を現さないのである。やっと彼が来たのは十一時半を回った頃だった。「稔ご免な、これでも何とか早く出てきたほうなんだ、さあ、飲もう」と行って彼は、ウイスキーのオールド・バーを出した。

次回に続く

シベリヤ出兵秘話

第五十二回



次回に続く、

栗 あきつ

ドイツ製、野戦用ガソリンエンジン式、小形発電機五台と、ガソリンが入ったドラム缶五本と、金の延べ棒を熱で溶かし焼き切るための、ニクロム線や電気線（でんきごと）まで用意した。発案者である原吉少佐が、釜山まで、着いた物の確認をすると、特別貨物軍用列車で京城（ソウル）へ、貨物に付き添って、原吉少佐が駅に着くと、出迎えた瀬藤大佐の前に直立不動で敬礼をすると、只今、荷物は無事に到着いたしましたと報告をすると、原吉君、御苦労でした、瀬藤大佐は、ねぎらった。部隊長、仕事はこれからです。サア！最後の大事な仕事だ、みんな頑張るってやり抜こう。原吉少佐は、部隊全員に号令を掛けた。作業は、まず列車の外と中に分かれて始められた。外では、発電機にガソリンを入れている者、エンジンを始動させて発電機の調子を見る者などで、準備に忙しく立ち働いている。一方車内では我が国の当時の金額にして、二億二千万円相当の金の延べ棒を前にして、切断チームは、みんな緊張している。陸軍技術本部から、派遣された畑中技術中尉が、自ら金の延べ棒の切断のやり方を見せてから、一人、一人に手を取って切断のやりかたを教え、いよいよ金の切断作業が始められた。

夕会報告



7月26日の夕会は、先日やった歌と踊りの反省会を行いました。

今年の歌と踊りの集いは、氷川きよしの「きよしのズンドコ節」をオペレッタ形式で行いました。

当日は、前回と同様すごく楽しい盛り上がった時間を送れたとの意見が多数でした。

他に出た意見としては、今回は担当者の中にメンバーがいなかったのが「メンバーを入れたほうがよい」とか、もうちょっと適格な指示が欲しかったとか、また二人のチャイナ服姿を見たい等、反省会でも、とても大盛り上がり今年の歌と踊りの集いでした。

天海 隆一

寄付のお礼

(七月六日〜八月八日)

今月も多くの方からご寄付を頂きました。

賛助会にご賛同下さった方

田中紀義様あけみ様

大久保政子様 佐藤四郎様

小野由紀子様 諸角始子様

ご寄付を下さった方

高野カネ様

物品を下さった方

飯尾裕子様 千代田社会福祉協議会武藤様

山崎真理子様 小野田春子様

Thank you



ありがとうございました。

お詫び・訂正

先月号の「寄付のお礼」の名前表記に誤字・脱字がありました。ここでお詫びとともに訂正させていただきます。申し訳ございませんでした。

(誤) 仏頭邦子様 ↓ (正) 仙頭邦子様

編集後記

この歳になってやっとな他人のことを思いやれるようになったが、自分の身体が苦しいとやぱりそれどころではなくなるから家に来るヘルパーさんは気の毒だ。二人とも千秋の思いで待っているから（理由は違っても）ヘルパーさんの顔を見れば、我先に自分の事をやっつけて欲しくて（ワァーワァー）言うから、ヘルパーさんははてさてこ舞いをしていて。御免なさい。このごろ歳をとったせい我慢が出来なくなってきた。若い頃は精神的にも肉体的にも長い時間とか、日にちまでも我慢することが出来たのに、今は一分でも早くと思うし、それが叶わないと苛々してしまう。旦那も私と同じ年、歳がそうさせるのか？私よりも色々な面で気が短くなつたみたいだ。

太田 圭子



僕はこのごろ、とても朝早く、目が覚めてしまいます。友達に言う、「それは年を取った証拠だよ」と言われてがっかりした僕ですが、そうがっかりしてもいられません。朝ヘルパーさんにでも来ていたでいて神宮外苑にでも朝早く連れていってもらうことだつて出来るのです。それがこれからの僕の楽しみになるかも知れません。

太田 稔



この号が出る頃には、僕はまた一つ歳を取っているだろう。三十代も半ばを折り返し、四十という数字がちらほらと見えてきそうになつて改めて振り返ってみると、自分という人間の狭量さに呆然としてしまう。「あの時ああしていれば」「こんなはずじゃなかった」等々、失敗や後悔の連続のように思う。けれど、僕は僕なりに、精一杯僕自身を生きてきたし、もう一度やり直せたとしても、たぶん今の僕とたいして変わりはないと思う。後ろを振り返るよりも、前を向いて歩く方が健全だ。たとえ欠点があつても、それも含めて僕自身なのだから、自分を卑下するのではなく胸を張って歩けるようにと切望する。

三十七を迎えてこんな事を考えていては、まだまだ幼稚かもしれないが。

小野塚 航

まっぴい
 明日はいいこと
 あります。



スケジュール

- 8月27日（水） 運営委員会
- 8月31日（日） 高浜夏祭り
- 9月1日（月） 振替休日
- 9月6日（土）～7日（日） 風の子会一泊旅行
- 9月8日（月） 振替休日
- 9月9日（火） 総務部
- 10月11日（土）～12日（日） みなと区民まつり
- 11月2日（日） ヒューマンぷらざまつり



ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ~定価40円~

編集者
 天海 太田 佐久間 三木 幸栗 頭
 隆 亮 直 高 史 人 彦 庸 稔

太田 小野 中野 田
 田本 塚
 恵 子 司 稔 航 子
 久代 磨 子

編集人：【高浜生活実習所】
 生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
 東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
 TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://www.kazenokokai.npo-jp.net/>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
 東京都世田谷区砦6-26-21

